

小松市とゲイツヘッド市の姉妹都市交流

交流団体名

日本側		相手側		
自治体名	交流団体名	国・地域名	自治体名	交流団体名
石川県小松市		イギリス	ゲイツヘッド市	

交流に至った経緯、特徴

コマツの英国工場がゲイツヘッド市に建設されたことがきっかけで、1991年に姉妹都市提携を締結。青少年交流を中心に、文化交流（芸術家の派遣や受入、庭園建設等）など様々な分野で交流を継続している。

人やモノの行き来に加えて、両市関係者や交流参加生徒を対象にインターネット映像通話を実施している。きっかけは1993年のNTTによる国際テレビ会議システムのデモンストレーションで、NTTの全面協力により専用システムを使用して両市長や交流事業参加者らが映像通話を体験した。その後、姉妹都市提携10周年の年である2001年に2度目の通話を実施。この時、小松市側では専用機器を使わず、パソコンの一般的なインターネット回線用通話ソフトを使ってゲイツヘッド市所有の専用システムに接続した。以来、この方法により「オンラインミーティング（※2010年までは「TV会議）」として年1回開催している。

現在、オンラインミーティングは2部構成となっており、第1部では両市長ら代表者が1年の振り返りやこれからの交流について挨拶を交わす。第2部では青少年交流事業参加生徒とその家族が、ホストファミリーへのお礼や近況など会話を楽しむ。メールやSNSなどで連絡を取り合う生徒達も増加しているが、生徒と家族が一堂に集まり、お互いの顔を見ながらやり取りできるのが魅力となっている。言語に関わらず人前でコミュニケーションをとる心構えを育てるうえでも有益な交流方法となっている。

また、オンラインミーティング本番前にテスト接続を行っており、一昨年からは音声や画像のテストだけでなく、関係者のコミュニケーションを図ったり、情報交換や交流事業に関する相談の場としても活用を少しずつ始めている（例：姉妹都市提携20周年記念訪問団から有志が参加し、訪問時のお礼を述べたり事業の成功を祝うなどした。）



<p>NTT国際テレビ会議システム デモンストレーション（1993年、市庁舎）</p>	<p>顔を見ながらリアルタイムで やりとりできるのが魅力（2010年）</p>
---	---

今後の展望・課題

●展望：インターネット映像通話は主に交流目的で利用しているが、担当者や関係者の打合せといった情報交換および連絡手段の一つとしても更なる活用を図りたい。メールでは幾度かのやりとりが必要だったものが1度の通話で済む場合もあり、連絡処理の効率化が期待できる。

●課題：パソコンからゲイツヘッド市所有の専用システムに接続する方法をとっているが、接続毎にIT技術者の協力が欠かせないのが現状。両市間でセキュリティーや設備機器の違いがあり、手軽で安定した通話の実現にはさらに調整が必要。

また、音声が不安定なこともあり、本番のオンラインミーティングでは両市双方に通訳を置き、かつできるかぎり定形的なあいさつについては原稿を用意する。通訳者の確保は課題のひとつとなっている。

優れた特色

インターネット映像通話を活用して、市長間の面談や交流団派遣事業の模様をオンラインでやりとりするとともに、担当間の打ち合わせにも応用することで事務の効率化にも寄与している。具体的な事業を行う中で、セキュリティー対策やIT技術者・通訳の確保等の課題に直面した経験が、今後同様の取り組みを検討する自治体への参考となる。